

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		企業立地関連促進事務		担当課	産業拠点整備室	担当係	立地促進係	管理番号	2601
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等	都市計画法、農振法、農地法、土地区画整理法、借地借家法、深谷市総合計画、深谷市都市計画マスタープラン等			
	小項目	1	商工業の振興						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		雇用創出及び自主財源の確保を目的として、工業団地の開発や産業拠点の整備などの企画立案及び進行管理を行う。大規模な事業に特化して進めるため、平成26年度に産業拠点整備室を設置した。							
目的 ※何のために		雇用創出及び自主財源確保のため							
対象 ※誰・何を対象に		開発可能な一団の土地（花園IC周辺地域、交通利便性の高い地域など）							
手段 ※どのように		都市計画法や農振法などの土地利用に係る諸条件の調整を行う							
成果 ※何を求めるか		工業団地の開発及び産業拠点を整備							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・ 花園IC拠点整備プロジェクトの進行管理（H28～R4）				・ 観光連携施設の企画立案（H28～R3）			
		・ 民間ゾーンに係る契約調整（H28～R3）				・ 維持管理に係る契約調整（H31～R3）			
		・ 公共ゾーンに係る契約調整（H28～R3）				・ 工業団地の適地検討（H28～R2）			
		・ 地権者との契約調整（随時）				・ 関係機関の調整協議（随時）			
		・ 地権者だよりの発行（随時）				・			
		・ 地権者説明会の開催（随時）				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工場団地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業団地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業団地の検討	花園IC民間事業者調整 花園IC地権者調整 工業適地の検討	花園IC民間事業者調整 工業適地の検討	工業適地の検討
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	4.35	4.70	4.10	4.10	4.20	3.15
	人件費相当試算※	33,838,650	36,575,400	33,230,500	33,357,600	32,600,043	25,613,746
総事業費試算		33,838,650	36,575,400	33,230,500	33,357,600	32,600,043	25,613,746

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	実績値の算出式		回						
	目標値	実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		4	3	4	4	0	0	
	実績値の算出式		事業の進捗に合わせ、必要に応じて開催するため、数値目標は立てられない。						
活動指標 2	花園 I C 地権者だよりの発行		回						
	目標値	実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		4	4	5	3	2	0	
	実績値の算出式		事業の進捗に合わせ、必要に応じて発行するため、数値目標は立てられない。						
活動指標 3	県等との関係機関の調整		回						
	目標値	実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		37	37	26	17	5	0	
	実績値の算出式		事業の進捗に合わせ、必要に応じて発行するため、数値目標は立てられない。						
成果指標 1	開発候補地の選定件数		件						
	目標値	実績値		0	0	0	0	0	1
	目標値の算定根拠/実績値の出所		0	0	0	0	0	0	
	実績値の算出式		事業の進捗に合わせた目標値の設定						
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	地権者との契約が令和2年度に完了し、調整事項が当面なくなったため、地権者説明会は開催しなかったが、今後の土地区画整理事業等に関する調整を見据え、地権者だよりによって事業進捗を周知することができた。また、コロナ禍のため回数は減少したが、必要に応じて節目節目で関係機関との調整を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	花園 I C 拠点整備プロジェクトについては、民間事業者との借地契約を完了するなど、開業に向けて順調に進んでいる。工業団地の適地検討については、県の動向を注視しながら、候補地の調査や関係機関との調整を進めていく。
			評価者 立地促進係長 小暮 正樹

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	関係機関との調整はウェブ会議を積極的に活用するなど、効率的な運用ができています。また、専門知識を有する業務等については、民間事業者へ業務委託を行うなど、人件費を含めたコスト面の効率化にも配慮できている。
			評価者 立地促進係長 小暮 正樹

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	企業立地関連促進事務	担当課	産業拠点整備室	担当係	立地促進係	管理番号	2601
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		評価の内容説明 当初の予定通り、事業者への土地引き渡しが行われ、工事着手がなされた。また、地権者については、事業契約後に発生した相続等に係る手続きも速やかな対応がなされた。その他、事業の完成に向けた情報提供も適切にされた。					
		評価者 産業拠点整備次席特命監兼室長 三浦 聖樹					

上記を実施するための具体的な取組内容は？

7. 改善改革プラン・今後の課題

<p>令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)</p>	
<p>令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)</p>	

8. 評価指標グラフ

